



聖書クラス 12使徒

「あなたに天の御国のかぎを上げます」

マタイ16:19



使徒の重要性

- ◆ イエスは歴史書を残さなかった。学校などをつくらなかった。
- ◆ 世界を変える計画は12使徒に託された
- ◆ 彼らを通して世界に述べ伝えていく：
これがキリストが選んだ方法だった。



使徒の重要性

- ◆ 12使徒を選ぶために一晩中祈った
ルカ6:12-13

「そのころ、イエスは祈るために山に行き、神に祈って夜を明かされた。朝になると弟子たちを呼び集め、その中から十二人を選んで使徒と名付けられた。」

- ◆ この選択に世界伝道をかけた
- ◆ イエスの大宣教命令 マタイ28:18-20

イエスは、近寄って来て言われた。「わたしは天と地の一切の権能を授かっている。だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にきなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、あなたがたに命じておいたことをすべて守るように教えなさい。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」



使徒の特徴

- ◆ 比較的に若かった。ペテロは30歳位。ヨハネは10代の可能性。
- ◆ 社会的地位は特になく、無学であった。
- ◆ 全員ユダヤ人

使徒の意味

- ◆ 使徒 *Apostle apostello*
- ◆ 呼び出されている又は送り出されているという意味
- ◆ 軍隊が送り出される時につかわれていた言葉





このクラスで考えていくこと

- ◆ 家族、出身地、元の職業
- ◆ キリストに出会う前の性格・弱さ
- ◆ キリストによってどのように変わったか
- ◆ イエスとの関係
- ◆ 福音書や使徒言行録での記録
- ◆ 人生の後半・死



クラスの分け方

◆ 一週目：グループ 1A

雷の子 ヤコブとヨハネ

◆ 二週目：グループ 1B

アンデレ、シモン・ペテロ

◆ 三週目：グループ 2

フィリポ、ナタナエル、トマス、マタイ

◆ 四週目：グループ 3

小ヤコブ、ヤコブの子ユダ、熱心党シモン、
イスカリオテのユダ



ヨハネ 雷の子から愛の使徒へ



家族、出身地、元の職業

- ◆ 本名一 ヨハネ、
- ◆ 家族： 父ゼベダイ、兄ヤコブ、
- ◆ 元漁師—父親が釣り船の持ち主、雇い人もいたので多分裕福な家庭
- ◆ ヨハネ18:15 「この弟子は大祭司の知り合いだったので、イエスと一緒に大祭司の屋敷の中庭に入ったが…」 父親の関係によりヨハネは大祭司を知っていた。影響力のある父
- ◆ 気が強い母：マタイ20章で息子達がイエスの右と左の座にいられるように要求する。この母が十字架の下にいた(マタイ27:56)



- ◆ アンデレと共に元はバプテスマのヨハネの弟子であった(ヨハネ1:40)



キリストに出会う前の性格・弱さ

- ◆ 情熱的、熱くなりやすい
- ◆ 雷の子(ボアネルゲス)という名前をもらった(兄ヤコブも) マルコ3:17
- ◆ 忍耐や相手を受け入れる心は無かった

キリストによってどのように変わったか

- ◆ 愛の使徒となった
- ◆ 自分を称える人からイエスを称える人へと
- ◆ 目立ちたがる人から自分を控える人へ
(ヨハネの福音書)
- ◆ 福音書での姿と手紙の内容があまりにも違うので一部の学者はヨハネが手紙の著者ではないとまで言う



イエスとの関係

- ◆ 「イエスが愛しておられた者」と自分が書いた福音書に自分について説明
- ◆ 唯一十字架に架かったイエスを見た弟子
- ◆ 十字架上でイエスの母マリアを面倒見るように頼まれ、彼女を引き取った。それ程の特別な思いと信頼があった(ヨハネ19:26-27)
- ◆ 最後の晩餐でイエスに寄りかかった
(ヨハネ13:25)



イエスとの関係

- ◆ 特別な3人の関係(ペテロ、ヤコブ、ヨハネ)

ヤイロの娘の復活(マタイ5:37)、イエスの姿が変えられたこと(マタイ17:1-8)、ゲッセマネの祈り(マタイ26)

ペテロと共に最後の晩餐の準備をするように頼まれた(マタイ26:37)





福音書や使徒言行録での記録

- ◆ ヨハネ1:35－40 イエスとの初対面
- ◆ ルカ9:53－54 サマリアの村を燃えつくしたい
- ◆ マタイ17:3人が山に行きイエスの姿が変えられた
- ◆ マタイ20:20－21 母がイエスに王座をお願いしに来る

人生の後半・死

- ◆ ヨハネの福音書、ヨハネの手紙1、2、3を書いた。
- ◆ 皇帝トラジヤンの時代までイエスの母マリアとエフェソにいた。
- ◆ 数年間迫害によりパトモス島に追放。
- ◆ アジア州の教会に仕えていた。
- ◆ 沸騰した水に入れられたが、一切害はなかったという伝説





THRACE

PONTUS

Philippi.

Thessalonica.
Macedonia

BITHNIA

GREECE

TROAS

ASIA

GALATIA

ACHAIA

Thyatira

CHIOS

PHRYGIA

PISIDIA

Corinth.

Athens

Ephesus

Colosse

Lystra

CARIA

Perga

LYCAONIA

Tars

CRETE

パトモス島

LYCIA

PAMPHILIA

CILICIA

Antioch

SEA OF ADRIA

APPROXIMATELY 50 MILES

200 miles

SCALE

CLAUDA

CAPHTOR?

CHITTIM?

Paphos

ELISHAH

CYPRUS

Cyrene

THE GREAT SEA

Sidon
Tyre
Accho



- ◆ グノーシス主義のリーダー: ケリントス (Cerinthus) がヨハネが入ろうとした銭湯にいたら「悪魔の子だ」と叫びその風呂に入らなかったという伝説
- ◆ 100歳ほどの年になり、自分で歩けなくなり、教会まで担がれた。その時に言っていた言葉がいつも同じ: 互いに愛し合いなさい
- ◆ アジア州で死亡したと言われている



ヤコブ 雷の子で最初の殉教者

家族、出身地、元の職業

ヨハネの兄
ヨハネと同じ



キリストに出会う前の性格・弱さ

ヤコブも雷の子と名付けられた

怒りやすい性格

野心化—自分がトップに立ちたい



キリストによってどのように変わったか

高慢さと怒りが愛に変わる

(使徒1:8 サマリアでも述べ伝える)

ヨハネと同じように変えられた可能性、

しかし早く死んだので明確ではない

ヨハネといつも一緒になっていた

最初に殺された殉教者：影響力があったはず。自己中心で感情を抑えられない人はリーダーとして認められなかったであろう。



人生の後半・死

最初の殉教者 約44A.D.

使徒12:1-2

「そのころ、ヘロデ王は、教会の中のある人々を苦しめようとして、その手を伸ばし、ヨハネの兄弟ヤコブを剣で殺した。」

最初に殺されるために選ばれたほど影響力があった使徒であった。

ヤコブの死後、跡継ぎは選ばれない





地中海を渡った宣教旅行に行った伝説
スペインに教会を建てたと言われている
スペインの信仰の父とされている
ヤコブのシンボルとして三つのタイラ貝
(海を渡って宣教しとことを象徴する)